

# 6年生を送る会

## NJ日本人学校

### 仲間で力合わせ

ニュージャージー日本人学校初等部(白井治久校長)は2月22日、「6年生を送る会」を実施した。この日に向け初等部1年と5年生が力を合わせ、準備を進めてきた。プログラムには歌やプレゼント、ゲームタイムなどが盛り込まれ、楽しい時間を過ごした。プレゼントはメッセージカードと折り紙で作ったブーケを準備した。最後に6年生から下級生に向けた詩が披露された。それぞれの学年に向け、1年間でできるようになったことやそのクラスの特徴をよくつかみ、褒めてくれる6年生の詩を

下級生はここにこと笑顔で聞いていた。教室ではプレゼントをうれしそうに眺める6年生の表情から、下級生の気持ちがいっしょに伝わったことがうかがえた。中心となつて準備をしてきた5年生の児童は、「初等部のみんなと一緒に準備をがんばってくれた。今日6年生の笑顔が見られたから、本当にうれしかった」という言葉で会を締めくくった。同校の家族のような絆がつくりだす、心温まる会となった。



## NJ日本人学校 国連学校の 生徒迎え交流



ニュージャージー日本人学校(白井治久校長)の中等部は2月28日、NYの国連国際学校(UNIS)の生徒34人を迎え、日本文化の体験交流を行った。最初に日本に関するクイズで交流を深めた後、こまげん玉、めんこを使い、日本の「昔あそび」を行った。まず日本人学校の生徒が見本を見せて英語でやり方を教えると、UNISの生徒もすぐに打ち解け、時間を忘れるほど昔遊びに熱中していた。また茶道体験も行

い、一人ひとりがお茶を点てることに挑戦した。初めての生徒にとつては難しく茶筌を動かすことは難しかったが、自分で点てたお茶は格別の味であった。生徒は「楽しかった」「またやりたい」と話していた。この日に向けて本校生徒は「昔あそび」や「茶道」について英語で説明できるように準備し、見本を見せられるように練習を重ねてきた。日本文化を英語で説明することを通して、国際交流と友情を深めることができた一日となった。